

クリーンセンターごみ処理施設の建て替え（広域化） についての説明会における質疑概要（第4回）

この概要は、平成 25 年 6 月 30 日（日）三沢中学校にて開催した説明会における質疑応答・意見についてまとめたものです。

説明会にご参加できない方にも、説明会当日の質疑等の内容をわかりやすくお知らせするために、重複した質問・意見の省略をしていることをご了解ください。

1. 広域化全般について

Q：先日の説明会で、大坪市長は、広域化を実行するには市民の理解が前提で、合意無しではやらない、と言われていたが、それは今も変わらないか？

A：今後の進め方として、市民の理解を得て進めることについては、今も変わりません。

Q：前市長が、住民の 65%が反対してもやると言っていたが、それを踏襲するのか？

A：平成 12 年にごみ改革で有料化を行ったとき、当初 65%以上の反対がありましたが、最終的には有料化を決断しました。これを引き合いに出して、首長の立場としての決断は、反対があっても実行することがあるという趣旨で発言したことと理解していただきたいと思います。

Q：どういう方法で住民の合意を得るのか？説明会では、説明とそれに対する質疑応答である。住民の賛成、反対をどう判断するのか？具体的な方法を示して欲しい。

A：まず地元での説明会を行ってまいりました。次に今回の全市的な説明化を各中学校区で行い、意見をいただいております。この次どうするかについては、全ての地域で行った説明会の内容を分析して、次のステップを考えていきます。具体的にはこれから提示させていただきますが、今日の形は一つの手法であり、これ以外の手法も考えていきたいと思えます。

Q：6 月 15 日の広報に、「日野市はごみの広域化を進めます」とあるが、「住民の了解、合意、理解を得た後に広域化を進めます」ではないのか？なぜ、市民に知らせる唯一の媒体である広報で、「皆様のご理解を前提に進めます」と書かないのか？

A：6 月 15 日の広報については、行政の立場として、この内容について正しいと思っています。合意が前提とは書いていませんが、合意を受けて進めることに変わりはありません。

Q：住民の理解が前提と言っていたが、その住民というのは、日野市民全体なのか？それともクリーンセンターから半径数キロ以内の住民なのか？

A：住民の理解というのは 2 つあり、市民全体の理解とクリーンセンター周辺住民の方々の理解です。日野市全体のごみをどうするかという合意も必要であり、当然クリーンセンターの近くに住んでいる方々の合意という両方を考えなければいけないと思います。

Q：住民投票をするということはないのか？

A：数の問題は慎重に扱うべきと考えております。例えば、4月の市長選では、広域化だけを争点にしたつもりはありませんでしたが、マスコミにはそのように取り上げられました。では、当選したから広域化を進めるのかということは、違うと考えます。同様に、住民投票をして、仮に広域賛成が僅差で多かったとしても、その投票率がかなり低い場合に、それで進めるかは難しい問題であると思います。単純に数字での決着は考えておりません。

Q：説明会に参加できない市民にとっては、4月15日と6月15日の広報しか情報源がない。今日の資料はとても見やすく、まとまった資料となっている。但し、まだ載せて欲しい情報もある。3市長による説明会で、小金井市長と国分寺市長は、広域化をするのであれば、それ相応の費用を負担するとはっきり言った。そういう言葉や、他市の考え方等を入れて欲しい。他市と共同処理をするのであれば、色々と問題もあるが、前向きに考えるのであれば、ここに参加できない人たちに、きちんとした資料を早く配布することを考えて欲しい。

A：おっしゃる通りと考えております。説明会に来ることができない方もいるので、正確で、わかりやすい情報を市民の皆様に発信していきたいと考えております。

Q：国分寺市と小金井市のごみを、わざわざ隣接していない日野市に持ってきて燃やすのはおかしいと思う。日野市は日野市で作るのが一番良いと思う。

A：広域化は、隣接していなくても問題ありません。また、稼働年等の状況により、色々な組み合わせがあります。小金井市、国分寺市が単独で整備すれば、非常に小さい処理施設となりますが、3市ともに財政的な負担が大きくなります。単独で建設するよりも、広域化の方がより効率的です。

2. 費用関係について

Q：広域化のメリットの一つに費用比較があるが、単独の建設費が82億円とある。市長は先日、とりあえずの金額と言ったが、もっと信憑性のある、根拠のある数字で比較しないのか？

A：単独の建設費82億円は、平成20年度に単独処理を計画した時にプラントメーカーから見積もりを取って算出した数字です。広域の建設費104.2億円は、落札金額から試算した数字です。算出方法が違うということで、広域の建設費を、環境省のコスト計算手法である0.6乗比例に係る経験法則に基づく積算方法で算出すると、123.8億円になります。日野市の負担は40.9億円に増えるように見えますが、あくまで試算です。3市の建設費の負担割合は、試算段階で48%と記載していますが、まだ決定していません。正確な数字を出すには基本設計をする必要があります、今後実施していきたいと考えております。

3. その他

Q：この会の運営や周知に非常に不備がある。自治会長宛てに文章が届いたのが遅い。高齢者の方もいるので駐車場を用意して欲しいとお願いしたが、確保できないと言われた。しかし、来てみるといくらでも停められるではないか？

A：周知に不備があった点について、謝罪いたします。また、駐車場が無い会場もあるため、車での来場は遠慮してくださいと明記しておくべきでした。

Q：健康の被害はきわめて少ないと言いますが、家のものほしざおを拭くと今朝のさおの状態はこのような状態でした。（拭き掃除したキッチンペーパーを提示しながら）

南側の三沢の中腹に住んでいるが、クリーンセンターから北側の風が来る冬には、もっと真っ黒になる。私は1kmのところに住んでいるが、それでも焼却灰が来ている。近くの方は重金属を含んでいる灰が落ちるのではないか？

A：勘違いと思われます。（クリーンセンターからの焼却灰とは考えられません。）

4. 意見

- ・大きい炉を作って、3市がごみ減量すると、施設に余裕ができ、さらに他市のごみを引き受けることになるか、プラスチック類等を燃やす結果になるのではないか。
- ・小さい炉でも大きい炉でも同じような排ガス設備を付けることができると大学教授に聞いた。
- ・日野市環境基本計画は素晴らしい内容で、日本でも先進的なごみ処理計画と思われる。日野市のごみ袋は高いが、この計画があるから、私たちはごみを減らしてきた。
- ・一番ごみの落ちるのが500mから1kmと聞いたが、そこには子供たちの施設がたくさんある。
- ・住民の理解というものについて、定量的に表現してもらいたい。何を持って市民が理解したとなるのか。何パーセントの住民なのか、数字で答えないといけない。
- ・自治会として説明会を要求してきたが、地元への説明が先という理由で、すぐにできないと言われた。広報に発表した記事があるのであれば、なぜもっと早く説明会をしなかったのか。言いたいことがたくさんあるのに、この時期になり、時間がないという理由で進めてほしくない。もう一度、丁寧な話し合いをしてほしい。今後、小さい単位でも説明会をしてほしい。
- ・日野市の財政が苦しいのは、行政が下手くそだからだ。建設費用が足りないなら、積立金をおこして基金を醸成しておけば良かった。そういったことをやらなかったのは、行政が怠慢だったからだ。
- ・小金井市には小金井公園という広い公園がある。そういう所にごみ焼却場を作ればよい。